



2017. World Supersport Championship round - 12 España Circuito de Jerez 22 October

大久保光一予戦 20 番手・決勝 13 位

ワールドスーパースポーツ第 12 戦がスペイン、ヘレスサーキットで開催されました。ヘレスは、ヨーロッパの南端、アンダルシアのシェリー酒の産地として知られ、温暖な気候から、オフシーズンのテストに使用されることも多いサーキットです。コーナーが連続する中低速テクニカルコースは、日本人ライダーが得意としており、大久保光も、ここでのジャンプアップを誓って、サーキット入りしました。

ですが、また、トラブルが続出するレースウィークとなってしまいました。走行開始のフリープラクティス 1 回目から、エンジンから水が噴き出すトラブルに見舞われます。対策をメカニックに頼むのですが、フリープラクティス 2 回目には、更に水の量が増えて走れる状況ではなくなってきます。自身の転倒の危険ばかりか、二次的な被害も考慮しなければなりません。大久保は、メカニックに状況を訴えますが「問題ない」との回答に、コースに出ますが、状況は変わらず、エンジンはパワーを失い、タイムアップどころではありません。翌日のフリープラクティス 3 回目には、水の問題だけでなく、クラッチトラブルが発生してしまいます。解決策は見つかりませんが、予選に挑まなければならず、中古エンジンを引っ張り出して、積み替えてコースへと出ました。メンテナンスをしていないエンジンは、走り出しの 5 ラップは良かったのですが、次第に異音が始まり、大久保の求める加速が出るわけではなく、予選は 20 番手となります。

決勝に向けて、トラブルが出ないことを願ってグリッドに付き「走り切ることを、この状況の中で最善を尽くすこと」だけを考えて、アクセルを開け、なんとか 13 位でチェッカーを受けることが出来ました。レースをする以前のトラブルが続き、自身の力を示す機会を奪われている状況を改善することだけを願っています。残りは、最終戦のみとなりました。

大久保は現在ランキング 15 位に付けていますが、トップ 10 に食い込むことを諦めてはいません。ランキング 10 位との差は 6 ポイントで逆転不可能な数字ではありません。最終戦カタールで、今季最高の走りで、大きなジャンプアップを狙います。

大久保光

「これまでもトラブルはありましたが、ここ 3 戦のトラブルは深刻です。正直、きちんとレースと向き合えていません。こんな報告ばかりでは、お叱りを受けて当然だと歯がゆく思っています。たくさんの方の支援で、海外参戦させて頂き、このチャンスを生かし、ライダーとしてのキャリアをしっかり積み重ねなければならない大事なシーズン終盤に、辛いレースが続いています。それでも、この状況の中で最善を尽くすしかないのが現実です。最終戦には、普通にレースが出来る状況を作れるようにチームに頼んでいます。このチームで走るの、最終戦が最後になります。お互いに悔いのないレースがしたいという思いは、同じだと信じています。応援して頂いているみなさんに、いいレースが出来た、全力を出し切ったと報告出来るようにしたいと願っています。支えてもらっている感謝を結果でお返し出来るように精一杯に挑みます」

※次回は 11 月 4 日カタールの報告をさせていただきます。

CIA ランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

